

第2回ワークショップ結果概要

深沢区域

日 時：平成30年10月5日（金） 19時～21時
会 場：深沢会館
参加者：22人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
(席替え)
4. グループワーク
 - (1) この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
 - (2) (1)で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■席替え

当日の参加者には、第1回ワークショップと同じ席に着いていただき、資料説明の後、より多くの人と話し合いをしていただくことを目的として、くじ引きによる席替えを行った。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問のもと、4つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○いつでも利用できるドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に乗れる交通 ・安価なタクシー ・自宅から目的地まで行ける交通 ・タクシー券（自由な時間に利用できる）
○病院や駅までや、買物用に運行してくれる交通	<ul style="list-style-type: none"> ・病院まで行く交通 ・武蔵五日市駅や、できれば秋川駅まで行く交通 ・食べ物がないと生きていけない
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪時の交通の確保 ・運転できなくなった時のための交通 ・住民主体の交通（市から自治会へのワンボックスカー貸与） ・安価（300円/回程度） ・小型のバス ・必要な運行頻度を満たす

■交通手段の事例紹介

グループワーク終了後、第3回以降のワークショップに向けて、各地の公共交通に対する取組事例の概要を紹介した。

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・運転できない人/今後運転ができなくなる人のための交通	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から目的地まで送迎してくれる交通 ・安価なタクシー ・安い料金でサービスしてくれる交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に運行してくれる ・2回/週ぐらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物 ・病院 ・駅 	-
・外部から来る来客のための交通	・定期的に使えようようなバス（小さな車両）	-	-	-
-	-	・鉄道の頻度を増やしてほしい	-	-
-	-	-	-	・冬期でも移動できる交通の確保

テーブルB

対象者	交通のタイプ	目的地	頻度・時間帯	料金	その他
・免許返納をした時	・どこでも目的に向かって行ってくれること ・タクシーのような自由な車 ・タクシーのような乗り合い乗車	・駅までの足 ・駅に行く	・自由な時間に利用できる ・呼んだときに来る ・自由な時間に行ける	・タクシーの何%か負担していただく ・無料タクシー券 ・タクシー券（1カ月3枚） ・タクシー料金補助 ・タクシー券の配布（用途は限定）	・自動運転者で運転者が不要になる
・病気になって運転できないとき	・盆堀方式で	・病院に行く ・鈴木内科など	・定期便（1日5便） ・予約せずに乗れる	・代金は1回500円で	・ボランティアは事故があったときの対応が不安
-	・運転できる人がヘルプ	・イオン ・買物ツアー	-	-	-
-	-	・市役所へ	-	-	-

テーブルC

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・自分が運転できなくなったときのための交通 ・足腰が悪い方のための交通	・自宅から乗れる交通 ・ワンボックスカー（4～5人乗り） ・1～2割程度の負担で乗れる交通 ・300円/回で乗れる交通	・3回/日程度（朝・昼・晩） ・3回/週程度（月・水・金）	・病院 ・買物 ・市役所 ・秋川駅周辺 ・日の出	-
-	-	-	-	・どのように手配するのか ・誰が運転するのか

テーブルD

出発地	目的地	頻度	車両	料金
・真光院の近くにバス停	・五日市駅	・週2回	・ハイエース程度の車両	・料金補助（タクシー代等）
・自宅近く	・秋川駅	・朝夕	-	-
-	-	・3～4回/日	-	-
-	-	・五日市線に合わせたダイヤ	-	-

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

A.ドア to ドアの価格の安い交通	・必要な時に乗れる交通 ・安価なタクシー ・自宅から目的地まで行ける交通
B.必要な時に運行するバス	・乗客がない場合は運行せず、必要な時に運行するバス
C.病院、駅（五日市）までの運行してくれる交通	-
D.積雪時の交通の確保	・冬季の降雪時にも運航してくれる交通 ・除雪

テーブルB

1位：いつでも利用できる（本数が少ないと不便）	・ 自由な時間に利用できる ・ タクシー券（自由な時間に利用できる）
2位：病院に行ける	・ 病院に行く
3位：駅までいける（遠くに行ける・バスもある）	・ 駅まで
3位：買物にいける（食べ物がないと生きていけない）	・ 買物

テーブルC

A.通院・買物で利用できる交通	-
B.ドア to ドアの交通	・ 自宅から目的地まで行ける交通
C.運転できなくなったときのための交通	-
D.住民主体の交通	・ 市から自治会へワンボックスカーを貸与してほしい
E.安価な交通	・ 300 円/回程度の交通

テーブルD

A. 駅までのアクセス	・ 武蔵五日市駅まで行ってくれば後は何とかなる ・ できれば秋川駅にも行ってほしい			
B. 運行頻度	<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕 ・ 1日に3～4回 ・ 1日に4～5回 </td> <td style="font-size: 3em; padding: 0 10px;">}</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車が運転できなくなったことが前提 ・ 病院、買物等目的により時間帯はまちまち </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕 ・ 1日に3～4回 ・ 1日に4～5回 	}	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車が運転できなくなったことが前提 ・ 病院、買物等目的により時間帯はまちまち
<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕 ・ 1日に3～4回 ・ 1日に4～5回 	}	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車が運転できなくなったことが前提 ・ 病院、買物等目的により時間帯はまちまち 		
C. 車両	・ 小型のバス			

■ 第2回ワークショップの様子

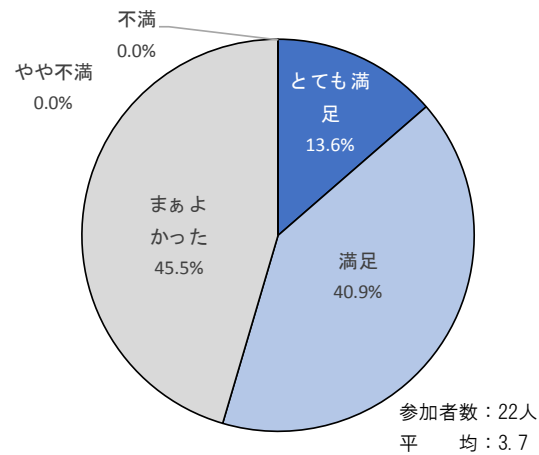


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・年をとるほどドアツードアでと強く思う。
- ・今回の方がだんだんわかってきた。
- ・年を取ってくる事が色々な面で考えさせられました。
- ・皆さんの意見の方向がほぼ一致していることがわかりました。
- ・まだ先の事と思っていたが、近い将来になってきたと思いました。
- ・最初説明がわかりにくかった。
- ・みんな駅までは行きたいのだという事。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・結局のところ皆思っていること同じでしたので、実現できればよいなあと思います。定期的なバスのもの和个人的な安価なタクシーと。
- ・タクシー（補助）の件、皆同じ考えだと思った
- ・全員車が運転できなくなった時。
- ・ワンボックスを出してもらいたいとの事。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・席替えにより人が替わったので良かった。
- ・自由な発想を気軽に言える場でした。しかし、一定の方向が出てきました。
- ・問題点を順番に表にした事。
- ・皆、自分の事なのでしっかり勉強していた。

第2回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（網代）

日 時：平成30年10月6日（土） 19時～21時
会 場：網代会館
参加者：17人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
（席替え）
4. グループワーク
（1）この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
（2）（1）で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■席替え

当日の参加者には、第1回ワークショップと同じ席に着いていただき、資料説明の後、より多くの人と話し合いをしていただくことを目的として、くじ引きによる席替えを行った。なお、第2回の参加状況から、A～Dの4テーブルのうち、Cを除外した3テーブルとした。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問に対し、3つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○利用したいときに利用できる	・タクシー利用補助（利用券）の配布
○近所同士による相乗り、乗合タクシー、タクシー割引	・できれば市から自治会へ車両を貸与 ・利用したいときに利用できるようにある程度の台数を確保 ・行政と地域で費用分担（タクシーは高額になる）
○自治会への電動自転車貸与	・行政から自治体へ電動自転車貸与されることにより、自治会会員による相互利用
○その他	・行き先：武蔵増戸駅 ・手 段：小型バス ・大手スーパー等による無料の直通バス運転

■交通手段の事例紹介

グループワーク終了後、第3回以降のワークショップに向けて、各地の公共交通に対する取組事例の概要を紹介した。

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

交通のタイプ	目的地	頻度・時間帯	料金/その他
・盆堀地区のようなバス	・家の前まで ・家の近くに来てほしい ・家の前から目的地まで	・呼んだら来てくれる ・希望する時間に来てくれるとよい	・タクシーは安心 ・タクシー補助券
・住民同士で運転手担当制 ・地元の人のボランティア（少額は出す）	・武蔵増戸駅 ・秋川駅・秋川方面	・定期的に通っているとよい ・毎日決まった時間に ・毎日最低2本 ・曜日に関係なく毎日、午前・午後とも3、4本	・地域と行政で費用負担
・買物便 ・スーパー便	・バス停まで	-	-
・デマンド交通	・買物 ・スーパー	-	-
-	・病院 ・勤務先 ・習い事	-	-

テーブルB

交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・るのバス ・小型バス ・ワゴンによる定期バス ・バス停以外でも乗降できるように ・無料の小型バス	・3回/週（月・水・金等） ・朝昼晩3回運行	・イオン（日の出町） ・病院 ・駅（武蔵五日市駅、増戸駅） ・市役所	・雪の日も運行できる小型車
・利用したいときに利用できる交通	-		
・タクシー補助	-	-	-
・ゴルフ場・幼稚園等民間企業のバスの活用	-	-	-

テーブルD

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・免許返納後	・区域内を走行できる小型バスワンボックス（10人乗り程度、狭い道路を通行可、区域内にバス停3箇所程度またはフリー乗降）	・1日に3回 ・朝夕	・武蔵増戸駅 ・秋川駅	・家の近くから利用できる ・行きたいところへ行きたいときに行ける
	・相乗りの仕組みづくり ・数名まとまって買物 ・団体乗合		・イオン	・自動運転可能な車の配置（将来）
	・他の施設のバス利用（五日市カントリー） ・ショッピングセンター直通バスの運行			-
	・電動自転車の提供（市から自治会へ）			-

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

・家の前から（高齢になるとバス停に行くまでが大変）
・呼んだら来てくれる（時間を気にしない）
・タクシー会社に（安全・安心）
・行政と地域で費用分担（タクシーは高額になる）

テーブルB

A. 乗り合いタクシー	・利用したいときに利用できるようにある程度の台数を確保
B. タクシーの割引	-

テーブルD

A. それぞれ利用したいときに利用できる	・タクシー利用補助（利用券）の配布
B. 自治会への電動自転車貸与	・行政から自治体へ電動自転車貸与されることにより、自治会会員による相互利用
C. 近所同士による相乗り	・できれば市から自治会へ車両を貸与
D. その他	・行き先：武蔵増戸駅 ・手 段：小型バス ・大手スーパー等による無料の直通バス運転

■第2回ワークショップの様子

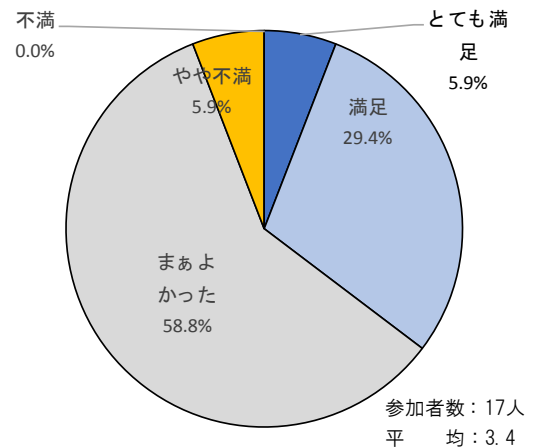


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・ 2回目を迎え「ワークショップ」の意味合いが納得できた事
- ・ この地域で何が求められているか、年齢にかかわらず共通していることがわかった
- ・ あきる野市は他の市町村にくらべてコミュニティバスの予算が少なく感じた
- ・ 地区内にアップダウンはあるものの、あまり不便さはないので、あるべき方向が難しい
- ・ 特に優先的に必要なものは何かと言う事を考えた
- ・ 将来の事のようにですが本当にできるかどうか心配です
- ・ 現実的な事として考える時、近隣が離れているので利用しやすい方法手段をいろいろ出し合い検討している
- ・ 地域の状況を考えると「タクシー利用」がベストなのではと思った

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・ グループごとの意見を尊重しましょう！と言ってくれた事
- ・ 進行役の人が分かりやすかった。他の参加者も2回目という事もあり、スムーズに話しができ、発言も出たと思います。
- ・ 電動自転車の貸し出しは良いアイデアと思いました！
- ・ 網代地区はやはり坂が多いので特別な地域である
- ・ タクシーが良いとの事ですが割引券などが欲しいとの事が印象的です
- ・ 電気自動車

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・ 個人の意見を優先してくれる所が良かった
- ・ 本日の話し合いの視点がかみづらかった
- ・ みんなと会話できる良い機会でした
- ・ 乗合タクシーの補助券は良いが、費用が増える
- ・ 第1回と今回のワークショップに出た意見との間にあまり差はなく、同じことのくり返しのように感じた
- ・ 交通手段にもいろいろな形態があるのだと特徴におどろいた
- ・ 条件を付けた検討をすべきでは？難しい
- ・ 将来の事ですが良い意見がたくさん出た事が良かった
- ・ 前回の時より企画が分かりやすかった。前回はショックを受けた方が多かった
- ・ 各テーブルのまとめは良かった

第2回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（引田・漕上・代継）

日 時：平成30年10月13日（土） 10時～12時

会 場：千代里会館

参加者：11人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
（席替え）
4. グループワーク
（1）この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
（2）（1）で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問に対し、4つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■第2回ワークショップの様子



■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○高齢者に優しい交通（＝誰もが使いやすい交通）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動を拡大するための足の確保 ・運転できない人も利用できる交通 ・ドア to ドアの交通 ・公立阿伎留医療センターなど通院で利用できる
○南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・段丘の定点間の短時間運行 ・駅までの特に朝夕のアクセス ・JR 駅まで行くバス（自宅から 200m程度で乗れる） ・駅、病院、イオンなどへの定時運行 ・市内の病院、スーパーなど巡回
○安い料金	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーより安く ・ワンコイン程度
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・定期運行/デマンド運行の併用 ・るのバスを使いやすくする ・小型車の運行（軽自動車、ミニバンなど裏通りを走れる交通） ・運行頻度は午前午後の2回、1日に4～5便（＝8～10往復）など ・バスがスムーズに走れるような道路整備 ・人が集まるようにするための学校、病院、会社、ショッピングモールなどの地域開発

■交通手段の事例紹介

グループワーク終了後、第3回以降のワークショップに向けて、各地の公共交通に対する取組事例の概要を紹介した。

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な人は少ない ・車を運転できない人 	■デマンド型 <ul style="list-style-type: none"> ・足が悪いので、家から目的地まで行って欲しい ・（免許返納後）目的によらずドア to ドアで運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・非定時運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回型－イオン、東急などのスーパーや市内の病院を回る ・巡回型－武蔵引田への巡回バス ・直行型－イオンへの直行バス ・行先別－病院、駅などの別に運行 ・通勤用にJR駅へのバスを運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時に駅へ行けるように ・道路の拡幅（全て4m以上に） 	
	■バス型 <ul style="list-style-type: none"> ・限られた所を回る ・住宅地をできるだけ細かく回る ・路線運行 ・ニーズが多い場所へのシャトル便 ・ワゴン車 ・るのバスのような片方向運行ではなく、双方向運行で 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時運行 ・2本/時 ・午前午後の2便 			
	■乗降場所 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停型（自宅から200m以内） ・徒歩2～3分で乗れる ・フリー乗降（どこでも乗降可） ・非路線型 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時運行のバスタイプとデマンドタイプの混在 			■将来的な開発 <ul style="list-style-type: none"> ・引田駅周辺の開発 ・買い物、娯楽など生活上の目的地を増やす ・地域開発のため、地区南部の農地を工場、会社、病院、学校、ショッピングモールに転用
	■地域内での乗合 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内乗合 				

テーブルB

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者 ・子どもから高齢者まで誰もが利用できる交通 ・自分で運転できなくなったときの交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅からなるべく近い場所で乗りたい ・家の前まで送迎してほしい ・乗り合いタクシーのような交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する時間に利用できる交通 ・3回/日程度 ・平日・休日の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・買物 ・市役所 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・るのバスの運行ルート拡大 ・るのバスの増便 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車の運行（狭く急な坂を通行できる交通） ・地域から駅（武蔵引田駅、秋川駅）までの南北方向の交通 ・段丘ごとの定点運行（南北方向、急な坂への対応） 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく安い料金（タクシー以下） 	-	-	

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

A. とくに高齢者等外出が大変な方を対象	・運転できない人
B. 南北移動を容易に	<ul style="list-style-type: none"> ・駅までの特に朝夕のアクセス ・JR 駅まで行くバス（自宅から 200m程度で乗れる） ・駅、病院、イオンなどへの定時運行 ・市内の病院、スーパーなど巡回
C. 運行頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・午前午後の2回 ・1日に4～5便（=8～10 往復）
D. 定期運行/デマンド運行の併用	・定期便と不定期便を
E. ドア to ドア	・老人等の移動
F. 安い料金	・ワンコイン程度
G. 地域の交通を支えるための整備・開発	<ul style="list-style-type: none"> ・バスがスムーズに走れるような道路整備 ・人が集まるようにするための学校、病院、会社、ショッピングモールなどの地域開発

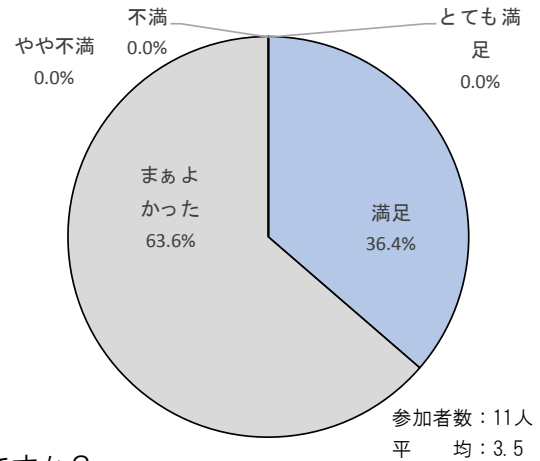
テーブルB

A.安い料金（ワンコインなど）	・タクシーより安く
B.高齢者に優しい交通（=誰もが使いやすい交通）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動を拡大するための足の確保 ・運転できない人も利用できる交通
C.南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・段丘の定点間の短時間運行 ・駅への南北方向の交通
D.るのバスを使いやすく	-
E.小型車の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車 ・ミニバン（裏通りを走れる交通）
F.通院で利用できる交通	・公立阿伎留医療センター

■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・自分が困っている事が他の人も同じ悩みであるのが共通認識できた
- ・参加者が少ないのだろうか～？と思っていましたが、1グループ（机）5名... この問題を考える、関心を持つ人がもっというて欲しいと思いました。でもGW（グループワーク）では話し易い人数でもありました
- ・区域内参加者の公共交通機関についての意見、認識はほぼ一致していること
- ・南北の移動が課題であることがわかった
- ・この地域からの駅の方へ行くのは大変だということです
- ・実施に対し、運賃料が出てきていたので、身近に感じるようになった
- ・老人中心の地区である
- ・年代によって要望が違うので幅広い意見を求めると良い
- ・見たいモノとか見ていないと気づく

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・高齢者にとって、医者に通う、駅まで行くことが自分の生活や生命を維持して良いものにしていくために、交通手段がかかせないものになっていることが実感できた
- ・とてもわかりやすく説明していただいたと思っています。「話し合いの様子から、この問題の皆様の考えが大分見えて、わかって良かった、満足しています」というお言葉が印象的、私もそう思いました。
- ・高齢者の利便＝全住民の利便向上の意見に賛同する
- ・地域開発等も含めた幅の広い議論も出て来た
- ・交通手段ばかりに注視しないで、地域の活性化について検討するべきです。学校（大学など）、工場、病院、ショッピングモールなど
- ・最終3点に集約する方法が良い

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・言葉で意見を出すことや発表することがなかなかまとめて発言できないので、付せんにつづつ願いを書いてまとめていくやり方はなかなか良いと思った
- ・市側から、今後の市発展（開発）の計画の中で、公共交通問題を位置付けたいとの意味の発言があったが、参加者は現在の問題ととらえている。将来像はまかせるので、現状改善に取り組んで欲しい
- ・各テーブルのファシリテータ役の人が非常に手際よく意見をまとめていた
- ・本当に引田地区、代継地区にワゴン車を走らせる事ができるのか？
- ・まとめる方向になってきたのかなと思った
- ・多くの方が集まった

第2回ワークショップ結果概要

草花折立下区域

日 時：平成30年10月6日（土） 14時～16時
会 場：折立会館
参加者：22人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
(席替え)
4. グループワーク
 - (1) この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
 - (2) (1)で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■席替え

当日の参加者には、第1回ワークショップと同じ席に着いていただき、資料説明の後、より多くの人と話し合いをしていただくことを目的として、くじ引きによる席替えを行った。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問に対し、4つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○るのバスを通す	<ul style="list-style-type: none"> ・るのバスを小型化し、市内を3地区に区分して運行するとともに、急坂下（草花団地内など）まで通してほしい ・折立にもるのバスを ・福生駅までの循環バス ・あきる野市全体にるのバスを走らせる
○タクシー代の補助、乗合タクシーの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に行くときに利用するタクシー料金の割引 ・るのバス運行までのタクシー代補助 ・草花団地内などはタクシー型を走らせる ・自宅から目的地まで行けるようにする
○駅、病院等への足の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・福生などの鉄道駅や病院への足を確保する
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの利便性向上（ルート変更、バス停の移動等） ・隣接市町、企業等との連携 ・折立地区専用車の導入 ・市営自転車の整備

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・運転できなくなった人のため/免許返納後 	<ul style="list-style-type: none"> ・るのバス ・小さなバスでいいのでバスを通してほしい ・小型乗用車でいいので歩いて行ける範囲にバス停が欲しい ・バスを通してほしい ・バスが折立下まで来るようにしてほしい ・るのバスの増便 ・バス停は工夫すれば作れる ・家の前まで来てくれる交通 ・安い料金 	<ul style="list-style-type: none"> ・1本/時間 ・朝・昼・夜にも運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物（イオン） ・病院（阿伎留医療センター） ・福生駅 	<ul style="list-style-type: none"> ・折立下から上までつなぐエレベーターの整備（自転車が積める広さ） ・あきる野市民にも「はむらん」の割引を適用してほしい ・花の岡バス停が狭く利用が不便なため、移設・歩道拡幅してほしい。

テーブルB

対象者	交通のタイプ	目的地	頻度・時間帯	料金/その他
<ul style="list-style-type: none"> 全ての住民 住民全て、老若関係ない(若くても免許がない等) 	<ul style="list-style-type: none"> るのバスを小型バスで運行、東地区・中央地区、西地区の3地区に区分 	<ul style="list-style-type: none"> 福生駅 市役所 	<ul style="list-style-type: none"> るのバスの頻度は最低でも2時間に1本、できれば1時間に1本ほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 安価な設定、理想は無料 バス代の程度 200円でもよい
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者(免許所有者含め) 	<ul style="list-style-type: none"> 福生行きのバスの停留所を永田橋の近くに移動 バス停の移動は市の権限からはずれるかもしれないが、絶対必要 	<ul style="list-style-type: none"> 医療センターへは10時までに 病院へ直行する便 	<ul style="list-style-type: none"> 1日に午前と午後 1週間3~4日、1日3便 午前(8-10時)、午後(3-6時) 病院は午前・午後各2回 	<ul style="list-style-type: none"> タクシー代の補助がほしい
<ul style="list-style-type: none"> 買物に出掛ける主婦 	<ul style="list-style-type: none"> 西東京バスのルート変更(秋川医療センター→氷沢橋→いなげや→折立都道→とよ坂→福生) 	<ul style="list-style-type: none"> 急坂下まで来てほしい 急坂下までおりられる車 	-	<ul style="list-style-type: none"> 足の便が確保できれば定着する(外へ転出しない)
-	<ul style="list-style-type: none"> 双方向の運行(歩道がなく、片方向しか運行できないと言っているが…) 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の市町や企業との連携(共同運行)

テーブルC

対象者	交通のタイプ	目的地	頻度・時間帯	料金/その他
<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学者 	<ul style="list-style-type: none"> るのバス型 路線バス るのバスの延伸 草花団地内へのワンボックスカータイプによる乗入 	<ul style="list-style-type: none"> 駅(福生、秋川、羽村) 市内の病院(草花クリニック、阿伎留医療センター)、福生など近隣の病院 近隣のスーパー、福生の西友 市役所、農協、公民館など公共施設 その他一仏事(日の出斎場)、瀬音の湯、OB会(羽村) 	<ul style="list-style-type: none"> 1日に少なくとも午前午後の2便 1日に4便 日あたり12本、朝夕を厚く 毎時運行 始発0830、最終2200 医療センターの予約時間に行ける 土日ものバスを走らせる 	<ul style="list-style-type: none"> 一律100円
<ul style="list-style-type: none"> 免許返納後の人 	<ul style="list-style-type: none"> タクシー型 自宅から直接出られる 駅などに直接行ける 	<ul style="list-style-type: none"> 福生駅を含む循環経路 目的地まで直行 公民館、体育館に行ける経路 るのバスを延伸して折立にバス停6箇所 		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通は市民の移動権を保障するもの。健康寿命も延びる。

テーブルD

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・免許返納後	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くにするのバスが止まってほしい ・るのバスの増便 ・折立地区近隣へのるのバスのバス停設置 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・病院・検診 ・買物 ・市役所 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・家の前まで来てくれる交通 ・タクシーのような交通 ・乗り合いタクシー（目的地が同じ人で同乗） ・折立地区専用の車両 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・病院から送迎バスを出してほしい ・通院時の補助制度 			
-	<ul style="list-style-type: none"> ・都営バスで多摩地域を循環 ・近隣市町への連絡バス ・公共的な自転車（レンタサイクル・シェアサイクル） 	-	-	-

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

A. るのバスを通してほしい（折立下経由）	-
B. タクシー補助（るのバス導入が無理なら）	-
C. 福生駅まで連絡する交通（バス）	-

テーブルB

A. るのバスを便利に（小型化して、急坂下まで）	・市内を3地区に区分するとともに、急坂下（草花団地内など）まで通してほしい
B. 路線バスを便利に（ルート変更、バス停の移動）	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京バスのルート変更 ・福生行きバス停を永田橋近くに移動
C. 隣接市町・企業と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・福生、羽村、日の出など近隣市町と連携 ・スーパー等をスポンサーに
D. タクシー代の補助（るのバス運行までの暫定措置）	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に行くときに利用するタクシー料金の割引 ・るのバス運行までのタクシー代補助
E. 市役所・病院に行ける	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所・医療センターを回るバス ・病院行き

テーブルC

A. 運行形態（るのバス型）	・折立にもるのバスを ・福生駅までの循環バス ・あきる野市全体にるのバスを走らせる
B. タクシー型	・草花団地内などはタクシー型又はワンボックスカーを走らせる ・自宅から目的地まで行けるようにする
C. 運行時間	・朝から晩まで ・通院に間に合うように
D. 目的地	・駅、病院への足の確保
E. 料金	・ワンコイン（できるだけ安く）

テーブルD

A. るのバスを通してほしい	-
B. 乗り合いタクシーの運行（無料）	-
C. 免許返納後に利用できる交通	-
D. 折立地区専用車の導入	-
E. 病院からの送迎バスの運行	-
F. 近隣市町への連絡バスの運行	-
G. 市営自転車の整備	-

■ 第2回ワークショップの様子

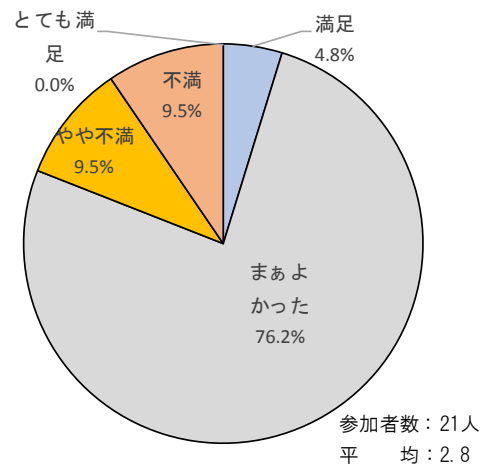


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・参加者の意見はほぼ同一のようだった。
- ・住民のガス抜きのためにやる会議ではダメ
- ・他の人の意見を聞くことの大切さがわかった。いろいろな考え出て当然である
- ・タクシー型などの意見が出てなるほどと思った。るのバス型しか考えていなかった
- ・住民が全員るのバスを必要としていること
- ・理想だけでなく是非実現してもらいたい。とてもむずかしい問題だと思いますが。
- ・市民の足の確保には経費の外に色々と解決しなければならない問題が山積している
- ・ワークショップの企画は結構ですが、はたして有効（効果ある）に働くか否か、疑問はあります

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・説明の時間が長い
- ・考えている事は皆同じだと思いました
- ・隣接自治体との合同なり連携方法を考えてみては？
- ・町内会長が是非実現をとという発言は大賛成
- ・説明は分かり易く良かった
- ・グループの指導員もまとめ方が上手だった

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・途中でメンバー変更したのは良かった
- ・公共機関として市内が中心を考えないと 市外を含めると市内全体として納得されるか？
- ・課題は出つくしていると思うので、役所での本気度を早く聞かせて欲しい
- ・少しでも進展を願っています
- ・前例（例）るのバス実現した場合、るのバス実現するために・・・等整理されて意見交換した方が
良い
- ・前回の内容が良く整理されていましたね

第1回ワークショップ結果概要

東秋川橋西側区域

日 時：平成30年10月13日（土） 19時～21時
会 場：野辺地区会館
参加者：11人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 本日のワークショップについて
4. 情報の共有
5. 質疑応答
6. グループワーク
7. ふりかえり
8. 閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法について説明するとともに、参加者の情報共有として、公共交通を取り巻く当該地域の現状について説明した。

■質疑応答

配布した資料やこれまでの経過について、ワークショップに入る確認のための質疑応答を行った。

問：野辺南のバス停は、るのバスのみが停車するのか。

答：西東京バスの通常の路線バスも停車する。

問：資料15頁に、ワゴン車も通れない道とあるが、普通にワゴン車が通っているのではないか。

答：一般車両が通れる道と公共交通に用いる車両が通れる道とでは幅員の条件が異なる。この意味は、路線バスのような公共交通に用いる車両としてのワゴン車が通れないという意味である。

問：資料13頁の図の表現（利用者が少ないと交通サービスを維持することが困難になる）は、どのような意図か。

答：利用者の減少とサービスの低下は相互に影響し合っているものであり、どちらか一方の原因という意味ではないという趣旨を示した図である。

問：道路の幅員が狭いと改めて言われても困る。行政としても認識を持ってもらいたい。もっと違う議論の仕方はないのか。

答：これは現状の道路幅員においてどのような車両が通行可能であるかを知っていただくための資料である。道路の幅員が狭いことについては市も認識している。今後、公共交通対策の取組として、道路の拡幅が必要ということになるのであれば、それは議論の中で課題として出していきたい。

問：るのバスの利用状況を伺いたい。定員は何人か。また、満員になることはあるのか。

答：定員は34人で、朝に病院へ向かう便では満員になることが多いが、病院を過ぎたところでは乗客が減少する。

※ ワークショップ時に定員 24 人と申し上げましたが、誤りでしたので、訂正させていただきます。

問：生活バス路線への補助とあるが、全てのバス路線に対して支出しているのか。

答：赤字となっている一部路線に対してのみ補助している。

問：盆堀地区交通の利用状況はどうか。また、利用したい時間に来てくれるのか。

答：ワンボックス車を戸倉のバス停まで運行しているものであり、ワンボックス車ということからも、乗車人員は限られる。。また、所定のダイヤで一日に3便を運行している。以前は6便であったが、利用状況から、現在は昼の買い物の時間帯を中心とした3便の運行となっている。

問：本ワークショップは提言書の内容に基づき実施しているものか。平成 29（2017）年の報告書は閲覧可能か。

答：平成 29（2017）年に取りまとめた「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」については、市のホームページで公開している。また、本ワークショップは、ご指摘のとおり平成 28 年度の検討会議において、短期的な取組と中長期的な取組が提示された中の、短期的な取組の一環として実施しているものであり、これを受け、公共交通空白地域の解消に向けて取り組むこととしている。

■第1回ワークショップの様子



■グループワークの結果 テーマ：私と交通

「日頃、どのような外出をしていますか?」「外出についてどのようなことで困っていますか?」との設問のもと、2つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

■外出の目的と目的地

○通院

- ・市内：公立阿伎留医療センター、あきる野クリニック、佐藤クリニック
- ・近隣市町：青梅総合病院、八王子医療センターなど

○買物

- ・市内：・アルプス、いなげや、コメリ、秋川駅周辺（東急）
- ・近隣市町：イオン（日の出町）

○その他

- ・運動・仕事は区域の周辺や市内中心部
- ・運動で市内中心部

■交通手段

- ・自家用車が大半
- ・通勤にはJRも利用
- ・区域内や近隣では自転車を利用

■外出で困っていること

○車利用者

- ・道が狭く、歩行者が危険、自動車のすれ違いや自転車の追い抜きもできない、救急車が通れない時もあるなど問題が多い
- ・抜け道として使っている車がスピードを出して危険
- ・車がないとどこへも行けない
- ・ガソリン代が高くなった
- ・駐車場が満車で使えない時がある
- ・大雪の時は除雪されない
- ・免許を返納すると交通手段がなくなる
- ・歩道がない、狭い
- ・車に乗れなくなった時にどうすればよいのか

○自転車利用者

- ・歩道がない、狭い
- ・どこへ行くにも坂を上がらなければならない
- ・バス停が遠い
- ・雨が降ると自転車が使えない

○JR利用者

- ・1時間に2本のため時間がかかりすぎる
- ・電車は本数が少なく、拝島で乗換えも必要で不便

○その他

- ・バスは帰りの時間が合わず、帰ってこれなくなる
- ・バスは乗らないから、乗り方が分からない

■テーブル別結果概要

テーブルA

■外出の目的と目的地

○通院

- ・市内：あきる野クリニック、佐藤クリニック
- ・近隣市町：八王子の病院

○仕事

- ・市内：畑
- ・近隣市町：青梅市

○買い物

- ・市内のショッピングセンター

○その他

- ・運動で市内中心部

■交通手段

- ・自家用車が大半
- ・通勤にはJRも利用
- ・近隣では自転車を利用

■外出で困っていること

○車利用者

- ・道路が狭い
- ・車がないとどこへも行けない
- ・ガソリン代が高くなった
- ・大雪の時は除雪されない
- ・歩道がない、狭い
 - ⇒○車に乗れなくなった時にどうするか
 - 小ぶりのバスが来てくれれば…
 - 日常の買い物をどうするのか
 - 2~300 百円の鰯の干物を1枚買うのにタクシー代(1000円以上)を払えるか?

○自転車利用者

- ・歩道がない、狭い
- ・どこへ行くにも坂を上がらなければならない
- ・バス停が遠い

○JR利用者

- ・時間がかかりすぎる、1時間に2本のため

○その他

- ・バスは帰りの時間が合わず、帰ってこれなくなる

テーブルB

■外出の目的と目的地

○買物

- ・市内：・アルプス、いなげや、コメリ、秋川駅周辺(東急)
- ・近隣市町：イオン(日の出町)

○通院

- ・市内：阿伎留医療センター
- ・近隣市町：青梅総合病院、八王子医療センターなど

○その他

- ・運動・仕事は区域の周辺や市内中心部

■交通手段

- ・自家用車が大半
- ・区域内等には自転車を利用

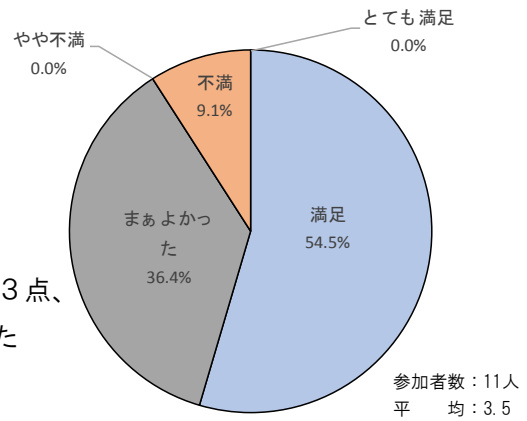
■外出で困っていること

- ・免許を返納すると交通手段がなくなる
- ・雨が降ると自転車が使えない
- ・駐車場が満車で使えない時がある
- ・道が狭く、歩行者が危険、自動車のすれ違いや自転車の追い抜きもできない、救急車が通れない時もあるなど問題が多い
- ・抜け道として使っている車がスピードを出して危険
- ・高低差があり、自転車の場合行きか帰りが大変
- ・バスは乗らないから、乗り方が分からない
- ・電車は本数が少なく、拝島で乗換えも必要で不便

■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・地元を見直せて良かった
- ・ワゴン車も公共交通にできない道幅であること
- ・車にたよっている日常に気づいた
- ・皆さん困っている事がよく分かりました
- ・電車、バスを乗るのは大変（時間、場所）
- ・車に乗れなくなった時の不便さを考えさせられました

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・道幅についての意見
- ・バスの運行
- ・タクシーでの買物はお金がかかりすぎる
- ・やはり車をたよる方が多い

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・初めてでよかった
- ・進め方はスムーズでした
- ・説明はよく分かった
- ・やはり道路がせまい・・・という課題は正解
- ・これから先の生活はどうなるのか
- ・コンサルタントが入ってくれた事
- ・まだよく分かりませんが、これからの期待します